

## バスケットボール競技規則一部変更にもなう南予ミニ連の取組

競技規則一部変更にもない、ミニバスケットボールでも取り入れられることは、今年度から取り入れていきたいと考えております。関係チーム及び帯同審判員においては、下記事項を確認していただき、試合に臨んでいただきますようよろしくお願いいたします。

### 【ミニのゲームでも取り組むこと】

#### ○ シグナルの変更（競技規則 P90,P92,P94）

- ・ ヴィジブル・カウント（手を開き、片腕を振りながら秒数をカウントする。）
- ・ ヘルド・ボール（ゲーム・クロックを止め、両手の親指を立てて示す。）
- ・ スコアラーにファウルを伝えるとき、右手が主体

※ 1～15番は変更なし。16番以上の表現の仕方

- ・ スコアラーに伝達するとき、審判は、ジェスチャーやシグナルだけではなく、言葉（声）を用いてコミュニケーションを取り、伝達事項が間違いなくスコアラーに伝わるようにする。
- ・ フロント・コートのエンド・ラインからスロー・インを行うとき。
  - ① スローインの場所を指示する。
  - ② スロー・インをするプレイヤーの位置を確認する。
  - ③ ボールを与える前に笛を鳴らす。
  - ④ スロー・インをするプレイヤーにボールを与える。

#### ○ ファウルの種類（競技規則 P96）

- ・ ハンドチェックング
- ・ ショット動作中のプレイヤーの手に対するファウル
- ・ 頭をたたく（頭に触れる）まねをする

※ ファウルでゲーム・クロックを止める合図をしたのち、フリースロー or スロー・インをその場で指し示す。

※ 詳細については、2015～バスケットボール競技規則を参照のこと

※ 泉杯で、全チーム及び全帯同審判員が共通理解を図り、柴田杯から完全実施を目指したいと思います。